



内定者意識調査（内定期間中の心境編）



26卒内定者が考える働く目的



1位 お金



2位 自身の成長

に続き

昨年
5位

やりたいことを見つける

3位に浮上

累計20,000社460万人以上の組織開発・人材育成を支援するALL DIFFERENT（オールディファレント）株式会社（所在地：東京都千代田区 代表取締役社長：眞崎大輔）および「人と組織の未来創り®」に関する調査・研究を行うラーニングイノベーション総合研究所®は、2025年9月25日～12月16日の期間で、2026年入社予定の内定者465人を対象に「内定者意識調査」を行いました。26卒内定者が内定先企業を決めた理由や内定期間に抱く気持ちについて調査・分析した結果を公表します。

背景

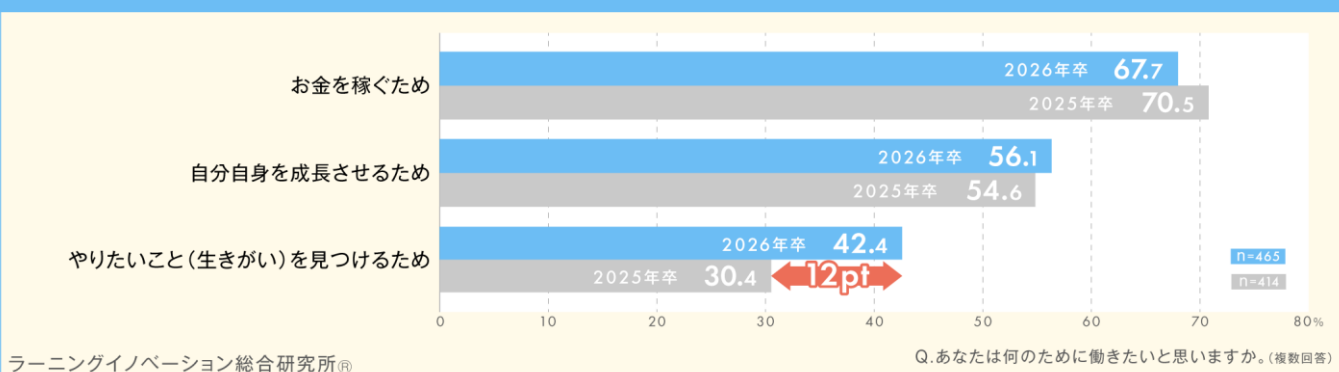
新卒採用市場は「売り手市場」が続き、就活生の選択はますます多様化しています。一方、企業では、少子化や採用の充足率の低下を背景に、採用計画の時期やプロセス・施策の見直しが広がっています。具体的には、優秀な人材を確保するため、選考直結型のインターンシップの拡大や早期の内定出し、初任給の引き上げ、SNSを活用した情報発信などの取り組みが広がっています。一方、採用担当者の業務量やスピード感は一層高まっているのが実情です。

そこで当社は、本年も「内定者意識調査」を実施しました。学生時代から生成AIの活用してきた人も多いとされるZ世代の26卒内定者が、どのような理由で入社する企業を選んだのか、現在の心境を明らかにします。

調査結果の概要

- 内定先企業に決めた理由、「業界・事業内容への興味」「社風・人間関係」が上位（図1）
- 働く目的、1位は昨年同様「お金を稼ぐため」。「やりたいことを見つけるため」は昨年から12pt上昇（図2）
- 入社への心境、7割以上が「不安」と回答。一方で「嬉しさ、楽しみ」「期待」も半数以上が回答（図3）
- 入社に向けた不安、トップは「自分の能力で仕事についていけるか」で約7割が回答（図4）
- 入社に向けた期待、1位は「いろいろなことを学び成長できる」で64.1%が回答（図5）
- 7割以上が「できれば内定先企業で働きたい」と回答。「そのうち転職したい」は約1割（図6）
- 考察「26卒内定者の不安払しょく」と活躍を促進する取り組みとは

内定者が考える“働く目的” TOP3（前年比較・一部抜粋）



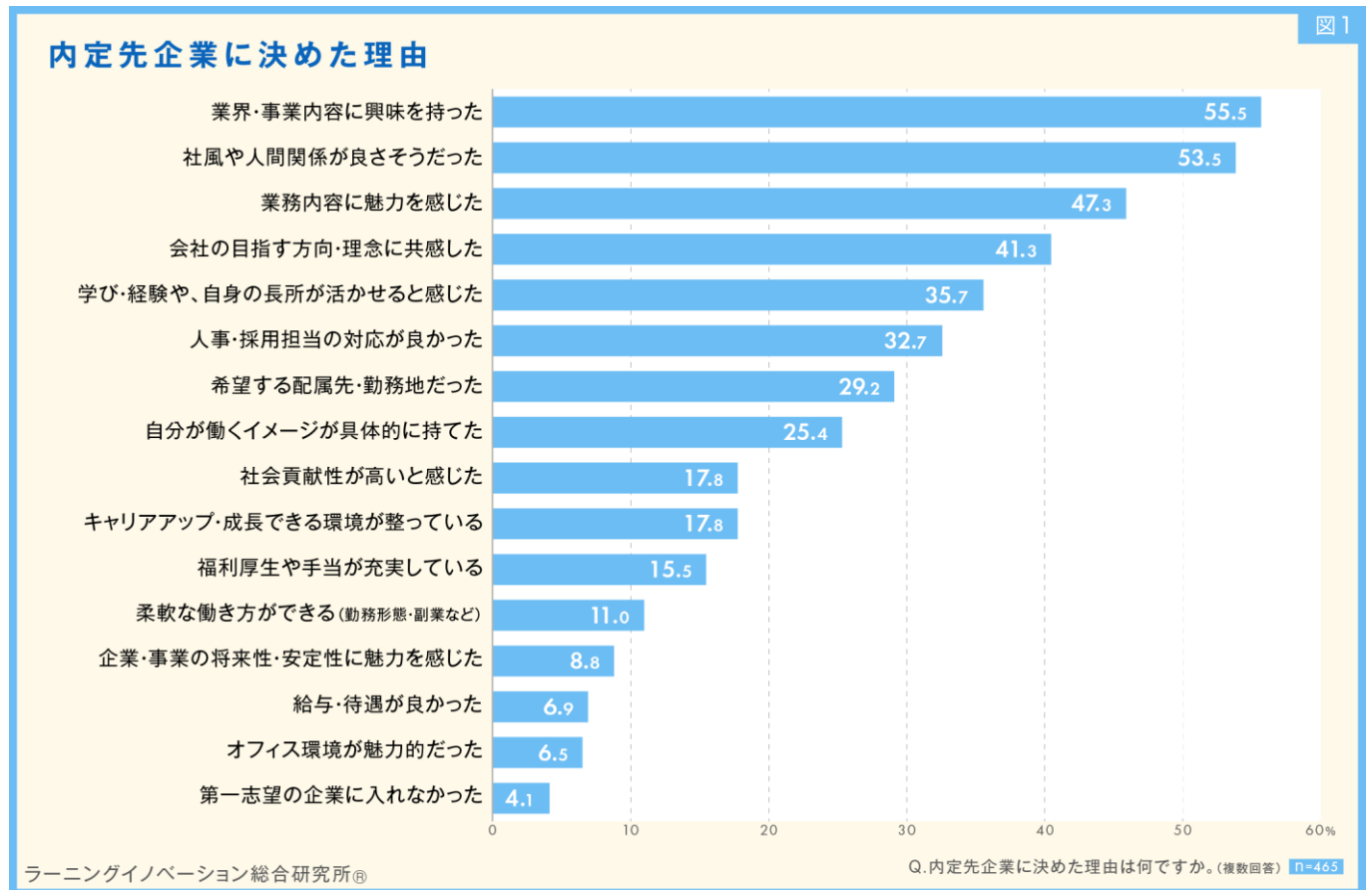
調査結果の詳細

1. 内定先企業に決めた理由、「業界・事業内容への興味」「社風・人間関係」が上位

まず初めに、26卒内定者に対して、内定先企業に決めた理由を質問しました。

結果、「業界・事業内容に興味を持った」が55.5%で1位となりました。次いで「社風や人間関係が良さそうだった」(53.5%)が続きました。

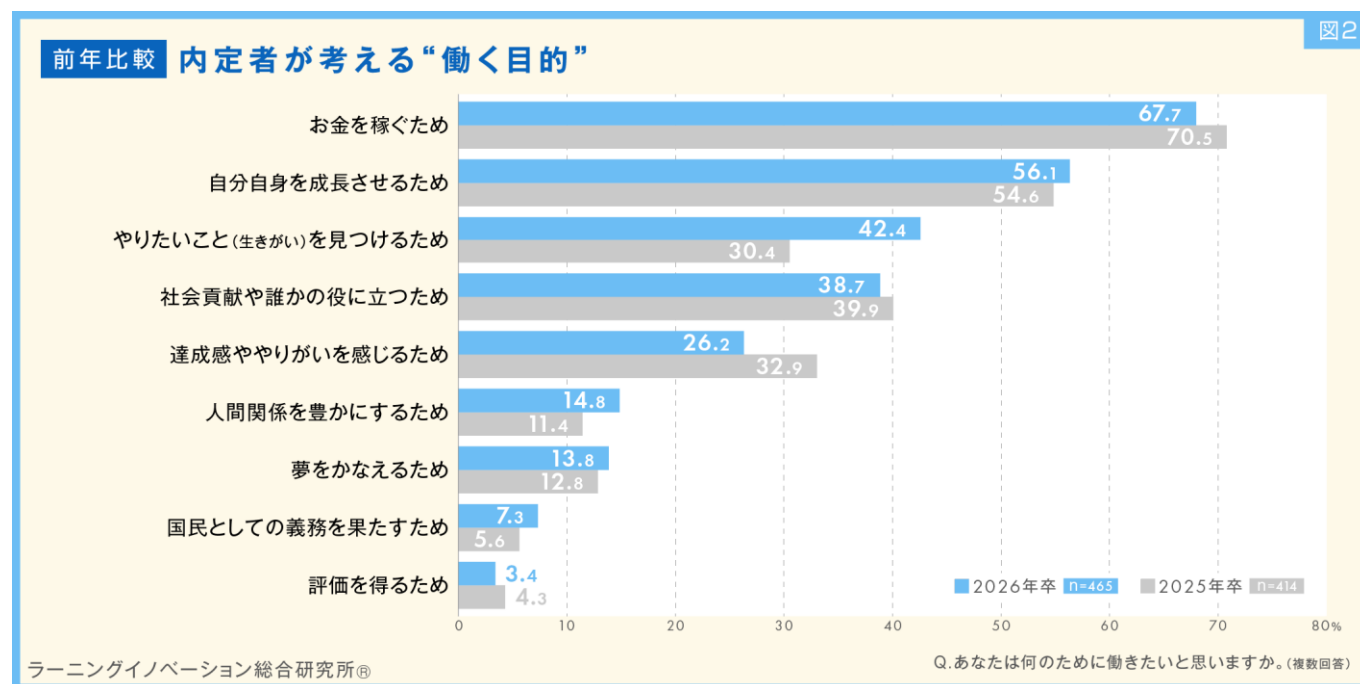
「企業・事業の将来性・安定性に魅力を感じた」「給与・処遇が良かった」「オフィス環境が魅力的だった」「第一志望の企業に入れなかった」は1割を切る結果となりました(図1)。



2. 働く目的、1位は昨年同様「お金を稼ぐため」。「やりたいことを見つけるため」は昨年から12pt上昇

次に、何のために働きたいと思うかを質問し、昨年の結果と比較して見ていきます。

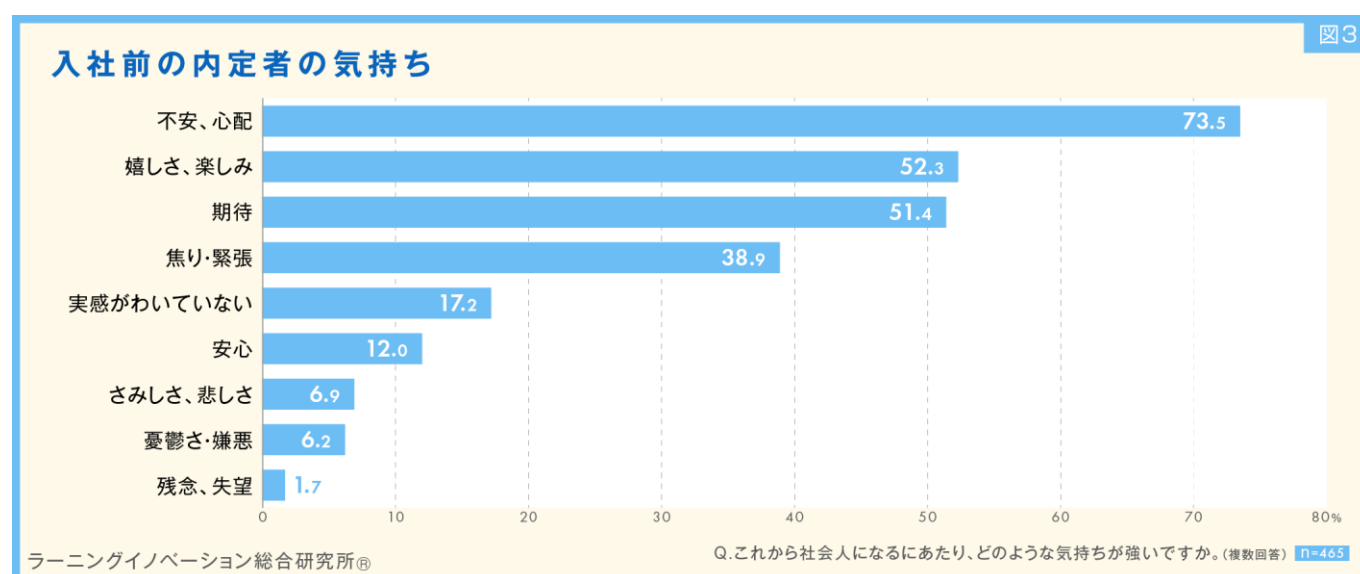
結果、1位は昨年と変わらず、「お金を稼ぐため」で67.7%となりましたが、昨年より2.8ポイント低くなりました。2位は「自分自身を成長させるため」が56.1%となりました。3位は「やりたいこと（生きがい）を見つけるため」が42.4%と、昨年より12.0ポイント高くなりました（図2）。



3. 入社への心境、7割以上が「不安」と回答。一方で「嬉しさ、楽しみ」「期待」も半数以上が回答

続いて、26卒内定者の心境について質問しました。

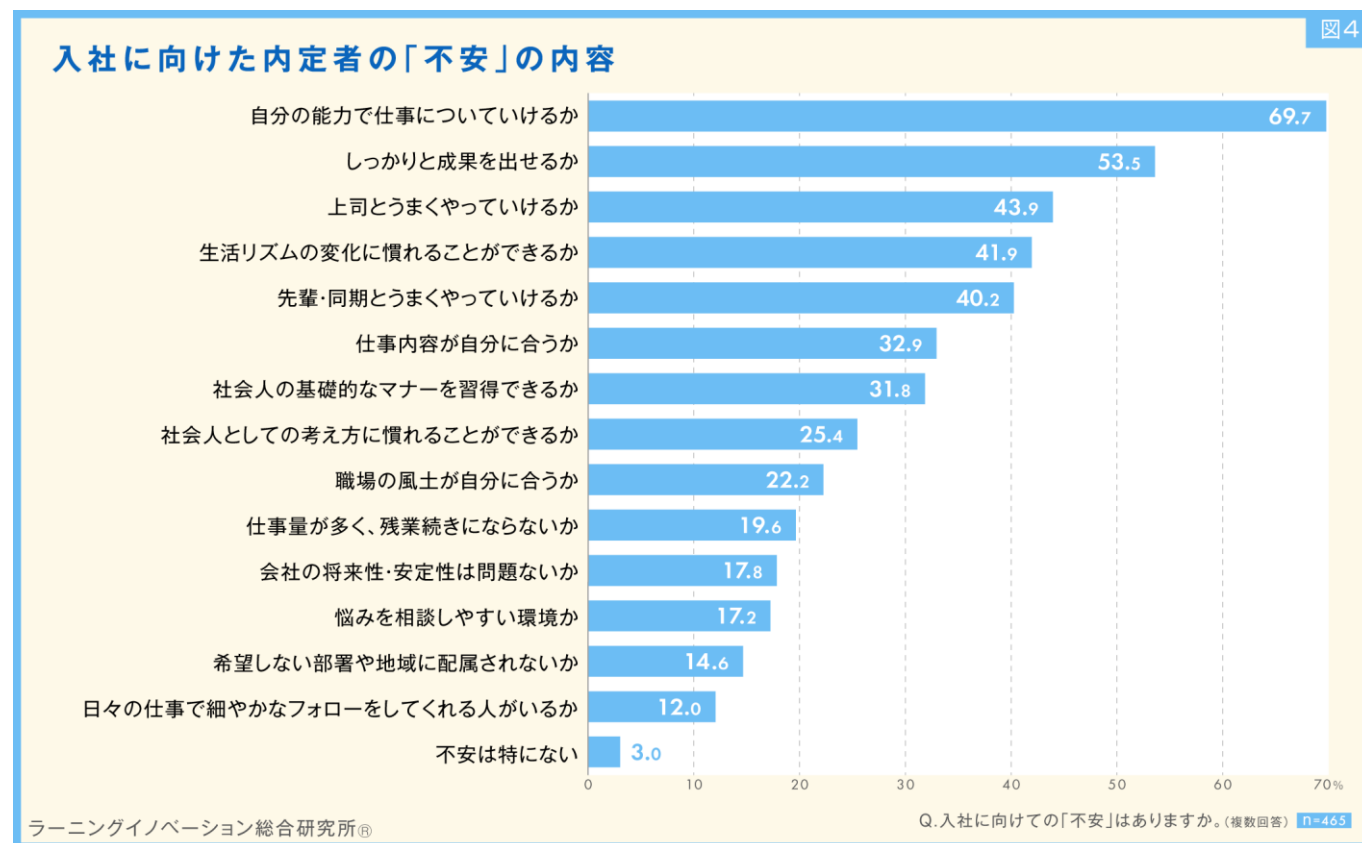
まず初めに、これから社会人になるにあたり、どのような気持ちが強いかを質問したところ、「不安、心配」と73.5%が回答し、最も高い割合となりました。次いで「嬉しさ、楽しみ」が52.3%、「期待」が51.4%と続きました（図3）。



4. 入社に向けた不安、トップは「自分の能力で仕事についていけるか」、約7割が回答

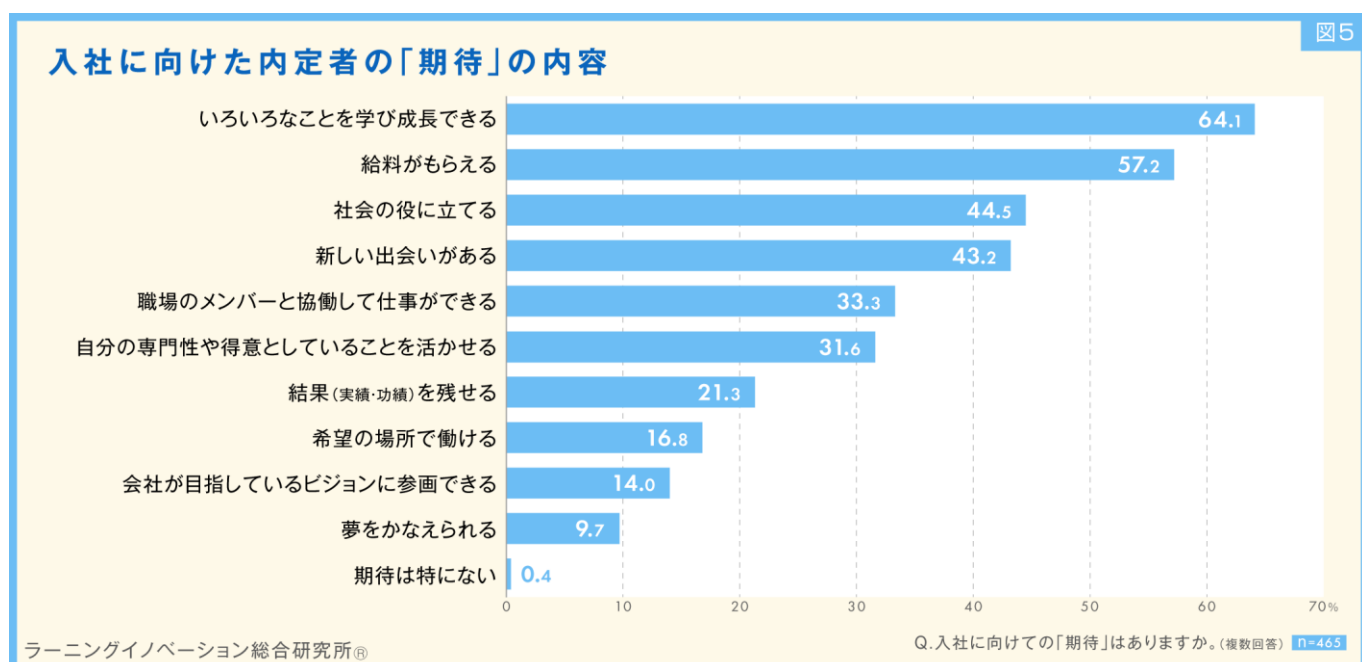
内定者の入社に向けた心境の1位だった「不安」について、具体的にどのような不安があるか質問しました。結果、「不安は特にない」と回答した割合は3.0%で、97.0%の内定者が何らかの不安を感じていることがわかりました。

最も高い割合となった項目は「自分の能力で仕事についていけるか」で、69.7%が回答しました。次に「しっかりと成果を出せるか」が53.5%、「上司とうまくやっていけるか」が43.9%、「生活リズムの変化に慣れることができるか」が41.9%と続きました（図4）。



5. 入社に向けた期待、1位は「いろいろなことを学び成長できる」で64.1%が回答

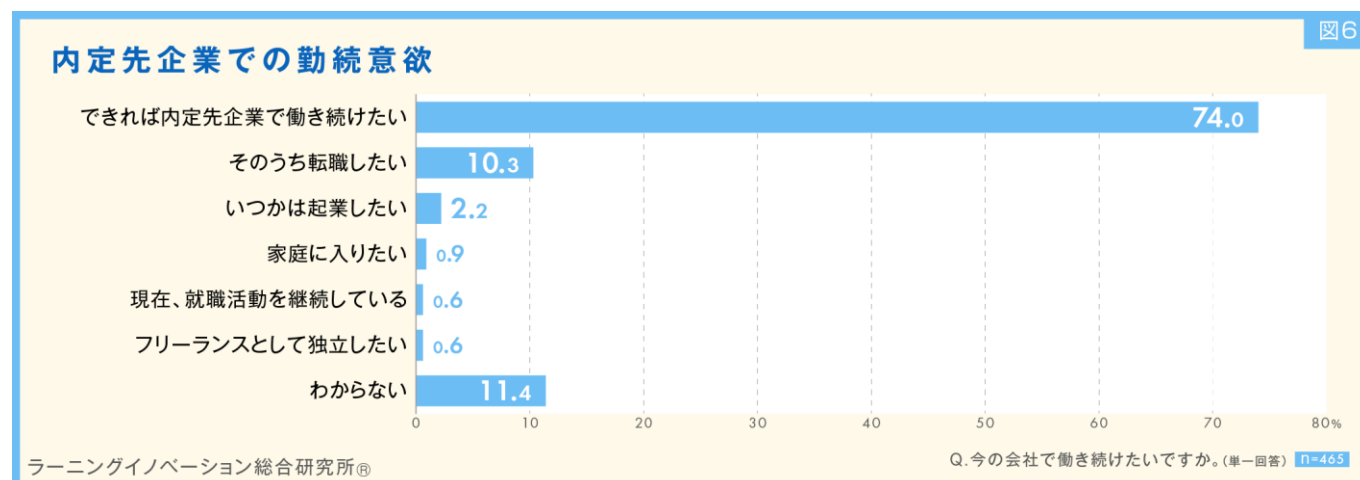
一方で、入社に向けてどのような期待があるか質問しました。結果、「いろいろなことを学び成長できる」が64.1%で1位となりました。続いて「給料がもらえる」が57.2%、「社会の役に立てる」が44.5%、「新しい出会いがある」が43.2%となりました。「夢をかなえられる」は1割を切る結果となりました（図5）。



6. 7割以上が「できれば内定先企業で働き続けたい」と回答。「そのうち転職したい」は約1割

最後に、内定先の会社で働き続けたいか質問しました。

結果、74.0%が「できれば内定先企業で働き続けたい」と回答しました。「そのうち転職したい」と回答した内定者は10.3%、「いつかは起業したい」は2.2%でした。一方で、「わからない」と回答した割合は11.4%でした（図6）。



まとめ

本調査では、26卒内定者の内定期間中の心境を調査しました。

まず、内定先企業に決めた理由は「業界・事業内容に興味を持った」「社風や人間関係が良さそうだった」が半数を超えました。また、何のために働きたいか質問したところ、「お金を稼ぐため」「自分自身を成長させるため」と半数以上が回答しました。3位には「やりたいこと（生きがい）を見つけるため」がランクインし、昨年よりも回答割合を10ポイント以上伸ばしました。

入社に向けた心境は、「不安、心配」の回答割合が最も高く、特に「自分の能力で仕事についていけるか」に不安を感じる割合が高いことがわかりました。一方で、期待については「いろいろなことを学び成長できる」が1位となり、社会人になるという大きな転換期に、業務に対する不安と、それによって得られる成長や変化に対する期待、どちらも心に抱えていることがわかりました。

最後に、内定先の会社で働き続けたいかを質問したところ、7割以上が「できれば内定先企業で働き続けたい」と回答しました。一方で、「そのうち転職したい」「わからない」と回答した内定者が、それぞれ1割以上いたことから、企業は採用して終わりではなく、入社後のオンボーディングや成長支援の設計ができているか確認する必要があります。

考察「26卒内定者の不安払しょくと活躍を促進する取り組みとは」

本調査では、「内定先企業で働き続けたいか」という問いに対し、内定者の7割以上が「できれば内定先企業で働き続けたい」と回答しており、その内定先企業を働く場所として決めた最大の理由は、「業界・事業内容に興味を持った」となりました。待遇や福利厚生、勤務地といった条件面よりも、どのような領域で働いていきたいかを意識し、企業を選択していることがわかりました。

「働く理由」については、「やりたいこと（生きがい）を見つけるため」と回答した割合が前年より1割以上増加。その結果、順位は去年の5位から、「お金を稼ぐため」「自分自身を成長させるため」に次ぐ3位に浮上しました。この結果から内定者の多くが「自分が仕事として何をしていきたいのか」を考え、それと結びつく業界・事業内容の会社で働くことを重視していた傾向が見られます。

また、内定者の持つ成長意欲も調査結果から読み取れます。「働く理由」については「自分自身を成長させるため」が2位となったほか、「入社に向けた期待の内容」についても「いろいろなことを学び成長できる」が最も多い回答でした。

一方で、「現在の気持ち」については7割以上が「不安」と回答しており、特に「自分の能力で仕事についていけるか」を懸念する内定者が多いことも明らかになりました。成長意欲が高いからこそ、期待に応えられるだろうかという不安を同時に抱える内定者が多いことが推察できます。

内定者が入社後も内定期間中の勤続意向や成長意欲を維持し、長く働き続けられるようにするためには、業務理解や学びの機会を提供して「やりたいこと」を見つけてもらえるよう支援することに加え、多くの内定者が抱えている不安を丁寧に払拭する取り組みが重要です。

■入社前の取り組み

内定者が「やりたいこと」のヒントを得られるよう知識習得・人脈形成の支援をするとともに、仕事や新生活への安心感を醸成することが重要です。具体的には、業務内容・キャリアパス・社内制度などをわかりやすくまとめた資料・動画を提供したり、内定者同士や先輩社員との座談会・交流会を実施することで、仕事内容や将来像をイメージしやすくする取り組みが有効です。

■入社後の取り組み

入社後は、日々の業務や今後求められる役割をより具体的に理解してもらうとともに、業務の中で生じた不安をこまめに解消することを意識しましょう。具体的には、上司から事業や業務の目的、本人への期待、評価ポイントなどを伝える機会を設けることで、目指す姿をわかりやすく描くことで安心して取り組めるようになるでしょう。また、業務・キャリア・メンタル面の相談ができる場としてメンター制度やOJT制度を整備すると、困ったときに相談できる相手がいるという心理的な支えとなります。

内定者が自分の興味や関心に合った仕事ができていると実感し、不安を抱えずに働けるように支援することが、入社後の長期的な活躍や成長の促進に寄与するでしょう。



ALL DIFFERENT株式会社

事業開発推進本部 コンテンツマネジメント部 ユニットリーダー

宮澤 光輝（みやざわ・こうき）

東京大学卒業後、ALL DIFFERENT（旧トーマツ イノベーション/ラーニングエージェンシー）に入社。コンサルタントと研修講師を兼務し、サービスの企画・開発、研修講師育成、中堅～大企業に対して研修の企画・提案および実施などをはじめとした人材育成支援に従事。複数の全社プロジェクトでプロジェクトリーダーを担当。現在はサービスの企画・開発チームのリーダーとして、対面研修、オンライン研修などの新サービスの企画・開発、研修講師育成を担う。研修講師としては公開講座や企業内研修等で、OJT指導者向け、管理職向けの研修を中心に年間100回以上実施。

調査概要

調査対象者	当社が提供する内定者向け研修の受講者（2026年卒業予定）
調査時期	2025年9月25日～12月16日
調査方法	Web・マークシート記入式でのアンケート調査
サンプル数	465人
属性	<div>(1) 業種 農業 林業 3人 (0.6%) 建設業 35人 (7.5%) 製造業 39人 (8.4%) 電気・ガス・熱供給・水道業 3人 (0.6%) 情報通信業 187人 (40.2%) 運輸業 郵便業 8人 (1.7%) 卸売業 小売業 40人 (8.6%) 金融業 保険業 7人 (1.5%) 不動産業 物品賃貸業 6人 (1.3%) 学術研究 専門・技術サービス業 18人 (3.9%) 宿泊業 飲食サービス業 2人 (0.4%) 生活関連サービス業 娯楽業 15人 (3.2%) 教育 学習支援業 3人 (0.6%) 医療 福祉 6人 (1.3%) 複合サービス事業 7人 (1.5%) サービス業 他に分類されないもの 27人 (5.8%) 公務 1人 (0.2%) その他 52人 (11.2%) わからない 6人 (1.3%)</div> <div>(2) 企業規模 1～50人 54人 (11.6%) 51～100人 83人 (17.8%) 101～300人 227人 (48.8%) 301～1,000人 69人 (14.8%) 1,001～5,000人 14人 (3.0%) 5,001人～ 1人 (0.2%) わからない 17人 (3.7%)</div>

*本調査を引用される際は【ラーニングイノベーション総合研究所「内定者意識調査（内定期間中の心境編）」】と明記ください

*各設問において読み取り時にエラーおよびブランクと判断されたものは、欠損データとして分析の対象外としています

*構成比などの数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がございます

ラーニングイノベーション総合研究所について

当社の研究機関、ラーニングイノベーション総合研究所[®]（以下、LI総研）は、「人と組織の未来創り[®]」に関する様々な調査・研究活動を行っております。
LI総研はデータに基づいた最適な解決策もご提供し、お客様の組織開発をサポートしております。

ALL DIFFERENT株式会社について

当社は、組織開発・人材育成支援を手掛けるコンサルティング企業です。「真の未来創りの伴走者」として、人材育成から、人事制度の構築、経営計画の策定、人材採用に至るまでの組織開発・人材育成の全領域を一貫してご支援しております。

代表取締役社長 眞崎 大輔

本社所在地 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-7-1 有楽町ITOCiA（イトシア）オフィスタワー 15F(受付)・17F・18F

支社 関西支社、中部支社

人員数 328人（2025年4月1日時点）

事業 組織開発支援・人材育成支援、各種コンテンツ開発・提供、ラーニングイノベーション総合研究所による各種調査研究の実施

サービス 定額制集合研修「Biz CAMPUS Basic」／ライブオンライン研修「Biz CAMPUS Live」

ビジネススキル学習アプリ「Mobile Knowledge」／ビジネススキル診断テスト「Biz SCORE Basic」

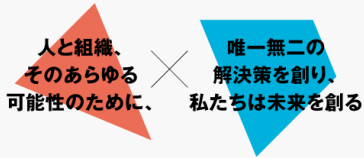
IT技術習得支援サービス「IT CAMPUS」／デジタルスキル習得支援サービス「DX CAMPUS」

管理職アセスメント「Discover HR」「Competency Survey for Managers」

人事制度構築支援サービス「Empower HR」／経営計画策定支援サービス「Empower COMPASS」

転職支援サービス「Biz JOURNEY」ほか

URL <https://www.all-different.co.jp/corporate>



※記載されている社名、サービス名などの固有名詞は登録商標です。なお、本文および図表中において、必ずしも商標表示（(R)、TM）は付記していません。

本件に関するお問い合わせ先	ALL DIFFERENT（オールディファレント）株式会社 企画グループ 加藤、富田、宇佐美 Mail： ad-press@all-different.co.jp Tel：03-5222-5111（代表） 080-4579-2761（宇佐美）
---------------	--